

<展示・窓口スペース>

- ◆ 雰囲気異なる2つのカフェや相談しやすい窓口を設けることで、誰もが気軽に訪れられる施設を目指す
- ◆ 1Fのカフェ、展示室、コラボスペース、オープンスペースをただ諸室ごとに使うのではなく、目的に合わせて柔軟に利用できるよう工夫する

■高級感のあるカフェ

- ・大人が入れるような雰囲気のカフェを設ける
- ・公演前後・合間に訪れられ、余韻に浸れる
- ・景色を楽しむことができる

■気軽に相談できる事務室

- ・窓口は話しかけやすいように施設の中心に配置し、事務室は書類などが見えないようにモデル案の位置に配置する
- ・窓口にホテルのコンシェルジュのような人を置き、気軽に相談できるようにする
- ・他の部屋よりも少しせり出したり、ぎふメディアコスモスのような円形のカウンターを設けたりして、相談しやすい窓口にする (イメージ①)

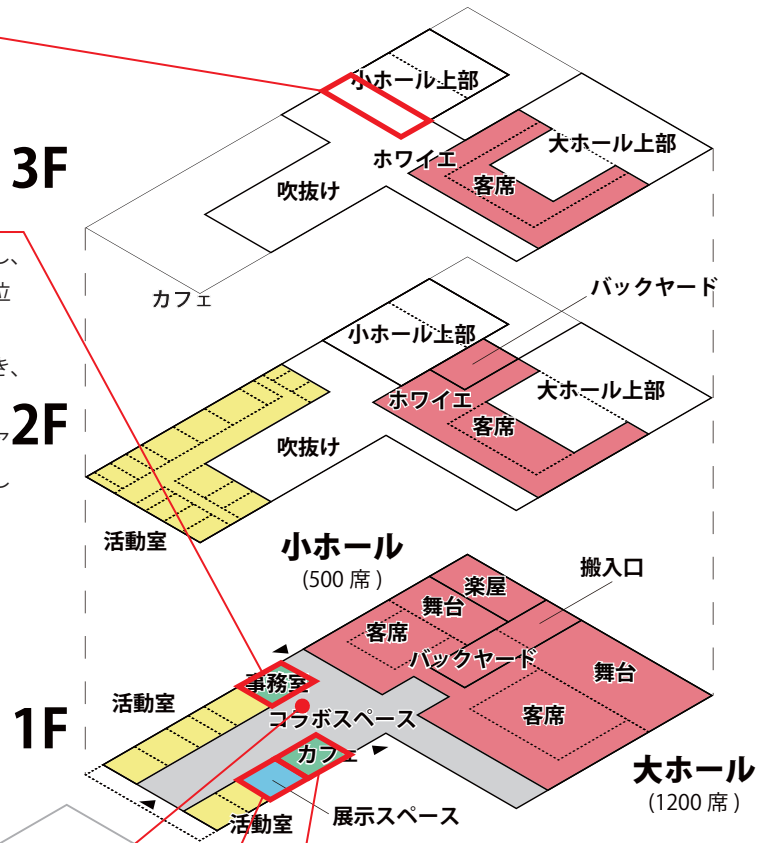


■無目的で訪れるコラボスペース

- ・イスやテーブルを多数置き、学生が訪れて勉強ができるようにする (イメージ②)
- ・椅子を置くことで活動が広がる
- ・コラボスペースでも飲食ができると良い
- ・コラボスペースでライブなどをするのも良いが、音の問題に工夫が必要である

■フレキシブルな展示スペース

- ・可動のパーテンションにより、囲まれた展示やカフェの客がふらっと立ち寄れる展示など目的にあわせてフレキシブルに利用できるようにする
- ・苫小牧市の地域ごとの活動がコラボできるような展示スペースが良い
- ・苫小牧市民会館にある石碑など、前の施設にあった思い出深いものをワークショップなどを通じて再び飾れると良い



■誰でも気軽に入れるカフェ

- ・学生がいつでもふらっと入れるようなカフェが望ましい
- ・メニューからオーダーするカフェ以外にも、コンビニや自動販売機で飲み物を買うようなカフェが考えられる
- ・南側のカフェにステージを設け、ライブや日舞などのパフォーマンスを行う
- ・ライブをする場合は、音の問題的にある程度の仕切りを設けることを検討する

◀---隣り合う---▶